

IP6



スタートガイド

※開始する前に、[www.allen/-heath.com](http://www.allen-heath.com)を参照し、ソフトウェアのファームウェアを確認してください。<http://www.allen-heath.com/>

■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。またお読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- 必ずPoE 受電IEE802.3af で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ツイストペアケーブルの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。ケーブルが破損して火災や感電の原因となります。
- 濡れた手で、ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常が起きたときは、ただちに電源を外し修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

注意

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 機器の重量に耐える強度を持った安定した場所に設置してください。落下によるけがや故障の原因となります。
- 以下のような場所には、設置しないでください。火災や故障の原因となります。

直射日光のあたる場所/ 極度の低温又は高温の場所/ 湿気が多い場所/ ほこりの多い場所/ 振動の多い場所

- 通気性の良い場所に設置し、機器の吸気口や排気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。
- 機器の移動は、ケーブルを全て外した上で行ってください。けがやケーブルの破損の原因となります。
- 他の機器との接続は、機器の電源を全て切ってから行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。

- スピーカーの破損を防ぐため、電源を入れるときは最初にこの機器の電源を入れてください。また、電源を切るときは一番最後に電源を切ってください。
- ケーブルの配線は、電源を切ってから10秒以上たった後で行ってください。また、ツイストペアケーブルがシャーシや他のケーブルとショートしないよう十分注意してください。感電や故障の原因となります。
- 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
- 落雷の恐れがあるときは、ケーブルを取り外してください。火災や感電、故障の原因となります。

■はじめに

このたびは本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

まずこちらの取扱説明書をお読みいただき、性能をご理解いただいた上で用途に応じた最適な使用方法を追求してください。

保証について

- ・ 保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名 / 所在地」の記入をご確認いただき、製品ともにお受け取りください。お買い上げ日より1年間は保証期間です。保証書記載事項に基づき、無償修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店までご依頼ください。
- ・ お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名 / 所在地」が正しく記入されていない場合は、保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不十分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。
- ・ 改造など通常の使用範囲を超えた取扱いによる故障や、設計・製造以外の要因で起きた不都合は期間内であっても保証の対象外となります。

故障かな？と思われる症状が出たときには

こちらの取扱説明書をもう一度お読みになり、接続や操作などをご確認ください。それでも改善されないときはお買い上げの販売店までお問い合わせください。調整・修理いたします。

目次

安全上のご注意	2
1. はじめに	5
2. リモートコントローラーの設置	6
2.1 家具や演台への設置	6
3. フロントパネル	7
4. リアパネル	9
5. 接続と起動	10
5.1 ユニット名とIPアドレスの設定	10
5.2 システム接続	11
5.3 イーサネットスイッチ	11
5.4 リモートコントローラーのプログラム	12
6. 寸法	13
7. 仕様	14

梱包内容

梱包内容をご確認ください。

- IP6リモートコントローラー
- 安全上のご注意、電子マニュアルのご案内
- 電源アダプター

1. はじめに

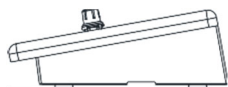
IP6は、Allen&Heath IPシリーズのリモートコントローラーです。標準的なTCP/IPネットワーク接続を介してAHM、dLive、またはAvantisミキシングシステムと連動するため、一般的なイーサネットのインフラを使用して他のコントローラー、コンピューター、およびサードパーティ製デバイスとともに接続できます。電力は外部電源アダプターまたはPoEから供給されます。

IP6の制御および機能は、AHM System Managerソフトウェア、dLiveサーフェイス/Directorソフトウェア、またはAvantisミキサー/Directorソフトウェアを使用してプログラムでき、以下を含む多数のアプリケーションに適合できます。

- **パーソナルモニタリング**：ワイヤレスIEMを使用する場合、IP6は、dLive/Avantis上の特定のミックスへのセンドレベル、パン、および複数チャンネルのアサインを制御するように構成でき、ミュージシャンが自分自身のモニターサウンドを自由にコントロールできるようになります。
- **固定設備**：インストーラーまたはシステムインテグレーターは、マイクロホンと音楽ソースのレベルなど、オペレーターが日々コントロールする項目のみに制限をかけてIP6を構成できます。

2. リモートコントローラーの設置

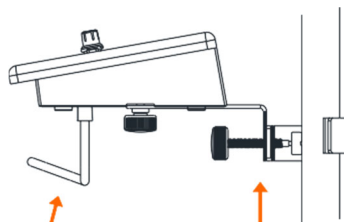
IP6は、3/8インチネジ穴が内蔵されているため、独立して使用したり、標準的なマイクスタンドに取り付けることができます。



台置き用滑り止め足



3/8インチネジ付きマイクスタンド上部

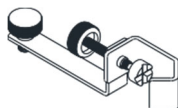


モニター用のオプション・ヘッドホンホルダー

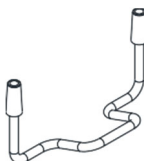
オプションブラケットを使用したスタンドマウントの側面

IP6の取付けには、以下のアクセサリーを使用できます：

AB8999マイクスタンドブラケット

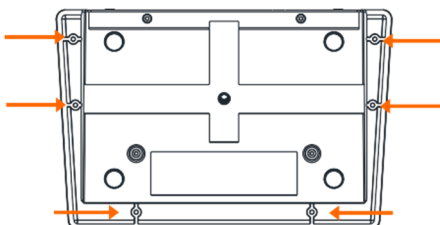


AB8705ヘッドホンホルダー

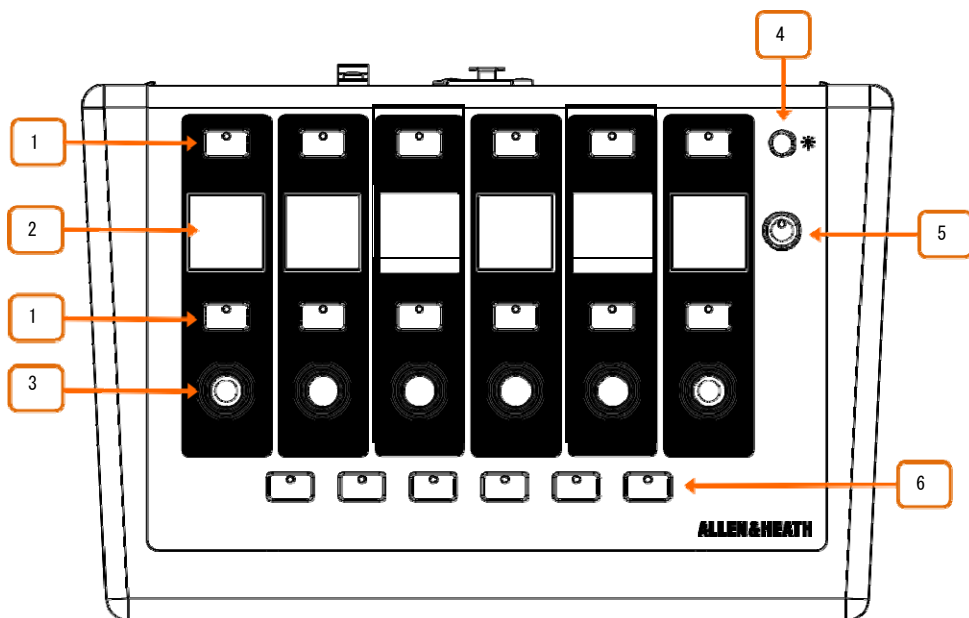


2.1 家具や演台への設置

台座、演壇、または什器に設置する場合は、以下の6Bネジ穴を使用してください。また、ユニットの周囲に十分な空気の流れを確保してください。

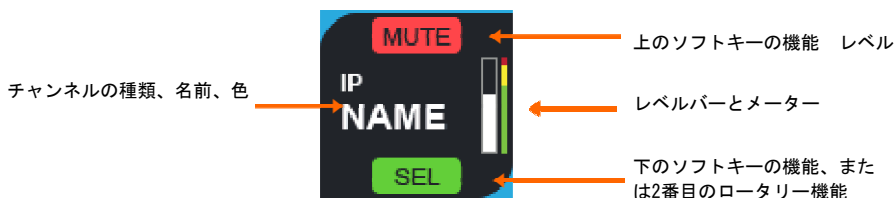


3. フロントパネル



1 ソフトキー：バックライト付きのアサイン可能なスイッチです(6×2セット)。個別に、または上下で対応する「ロータリーストリップ」の一部として構成できます。SEND/クロスポイントのオン/オフ、PAFL、ミュート、シーン/プリセットリコール、タップテンポ、トークバックアサイン、カスタムMIDIを設定できます。

2 LCDディスプレイ：6個のカラーディスプレイです。チャンネルとソフトキーの機能に関する情報を表示します。



3

ロータリー・エンコーダー：6個のアサイン可能なデュアル機能のロータリー・コントロールです。個別に、または「ロータリーストリップ」の一部として構成できます。ロータリーを押して回すと、2番目の機能をコントロールできます。

入力レベル、ミックス/ゾーンレベル、DCAレベル、AUXセンドレベル、FXセンドレベル、マトリクスセンドレベル、パン、カスタムMIDIを設定できます。

4

ディマー：運用環境の明るさに応じて、輝度を設定できます。

5

ソフトキー(Alt)：アサイン可能なスイッチです。Alt情報をLCDディスプレイに表示するように設定できます。

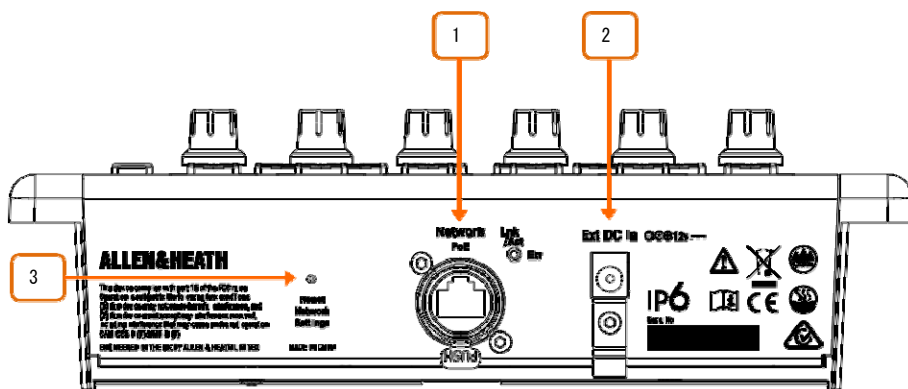
その他、センドのオン/オフ、PAFL、ミュート、シーンリコール、タップテンポ、トークバックアサイン、カスタムMIDIなどを設定できます。

6

ソフトキー(Layers)：アサイン可能なバックライト付きのレイヤースイッチです。リモートコントローラーのレイヤーを変更するように設定できます。ボタンを押すことで即座に最大6つの異なる制御/チャンネルセットにアクセスできます。たとえば、モニターミックスに送る36系統の個別入力のセンドを制御する、ペニュー内の6つの異なるゾーンへのサウンドを制御するなどのためにレイヤーを設定できます。

その他、センドのオン/オフ、PAFL、ミュート、シーンリコール、タップテンポ、トークバックアサイン、カスタムMIDIなども設定できます。

4. リアパネル



1 Network : ミキシングシステムに接続するための高速イーサネット、PoE対応のネットワークポートです。

※IP6は、接続を保護するためにロック機構付のNeutrik EtherConソケットを搭載しています。ツアリングやレンタルアプリケーションには、EtherConロック付きケーブルを使用してください。

※最大ケーブル長は100mです。STP/FTP CAT5e以上のシールド・ツイストペアLANケーブルをご使用ください。foilシールドと編組シールドを両方備えたケーブルは干渉に強く、概して丈夫です。

標準的なコアケーブルは、よじれや繰り返しの巻かれに、損傷を受けにくい構造となっています。※オプションのケーブル製品に関してはwww.allen-heath.comを参照してください。

2 外部DC入力 : 外部電源アダプターを接続します。またIP6は、PoEスイッチと接続している場合、ネットワークポートを介して電力を供給されます。

電源ケーブルを固定するため、本体にプラスチック製のPクリップケーブルクランプを搭載しています。

※付属する電源アダプターのみを使用してください。

3 ネットワークリセットスイッチ : 工場出荷時のネットワーク設定にリセットできます。リセットするときは、先の尖ったものを差し込んでスイッチを押しながら電源を入れ、離します。

5. 接続と起動

5.1 ユニット名とIPアドレスの設定

複数のIPリモートコントローラーを同じネットワークに接続する場合は、あらかじめ各ユニットに固有の名前とIPアドレスを設定してください。または、ネットワーク上にDHCPサーバーがあり、DHCPがミキシングシステムのIPアドレスと互換性がある場合は、リモートコントローラーでDHCPを有効にすることもできます。

出荷時の初期設定は、次のとおりです。

ユニット名	IP6
DHCP	Off
IPアドレス	192.168.1.72
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.254

これらの設定を編集するには、2つの方法があります：

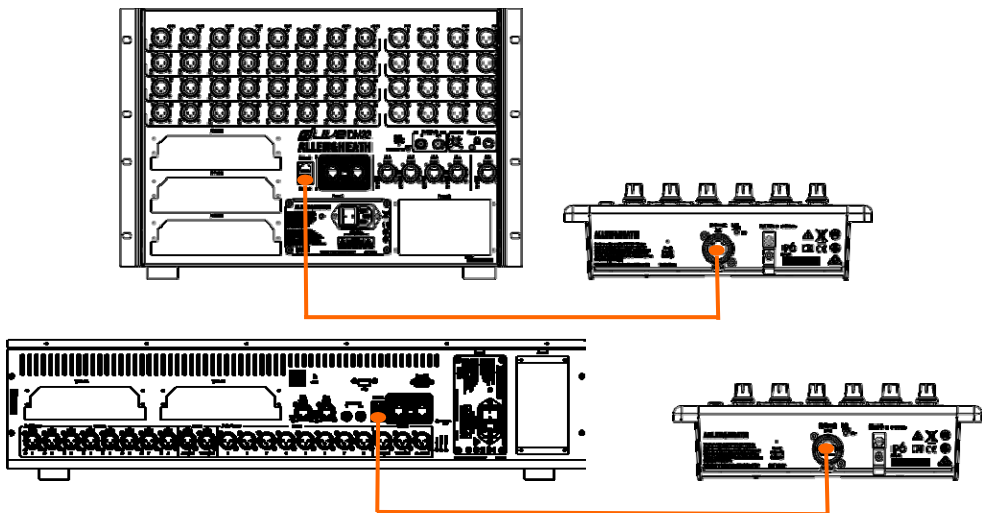
ブラウザアクセス：PCまたはMacコンピューターをIP6のネットワークポートに接続します。コンピューターを互換性のある固定IPアドレス（例：192.168.1.100、サブネット255.255.255.0）に設定します。Webブラウザを開き、URLバーにIP6のデフォルトIPアドレス192.168.1.72を入力します。これにより、ユニットのネットワーク設定にアクセスできます。IP6ユニットごとに操作を繰り返します。

システムソフトウェア：IP6をdLive/Avantis/AHMネットワークポートに接続します。ミキサーのタッチスクリーンインターフェースまたはDirector/System Managerソフトウェアを使用して、IP6ネットワーク設定を編集します。一度完了し、各IP6ユニットの操作を繰り返します。

※システムソフトウェアの詳細についてはwww.allen-heath.comを参照してください。
<http://www.allen-heath.com/>

5.2 システム接続

長さ100mまでのCAT5e以上のSTP/FTPケーブルを使用して、IP6をdLive/Avantis/AHMネットワークポートに接続します。



外部電源アダプターを電源に差し込んで、IP6の電源を入れます。リンクが確立されると、ポートLnk/Errインジケータは定常レートで点滅します。LCDディスプレイにユニット名とIPアドレスが表示され、ユニットの識別が容易になります。数秒後、IP6は、ユニットに対して設定されている場合には、アサイン及び機能を表示します。

※接続されているIPリモートコントローラーのファームウェアがミキシングシステムのファームウェアと同じバージョンでない場合、ホストミキサーまたはプロセッサは電源投入時に自動的にIPファームウェアをアップデートします。

5.3 イーサネットスイッチ

複数のIP Remote Controllerを並列接続する場合は、標準的なイーサネットスイッチを使用できます。

※PoE(Power over Ethernet)の場合、802.3af(15.4W最大給電)または802.3at(30W最大給電)の規格のいずれかが適しています。接続したいすべてのIPリモートコントローラー(IP6、1ユニットにつき10Wを供給)に対応するために、全体の定格電力が十分であることを確認してください。

5.4 リモートコントローラーのプログラム

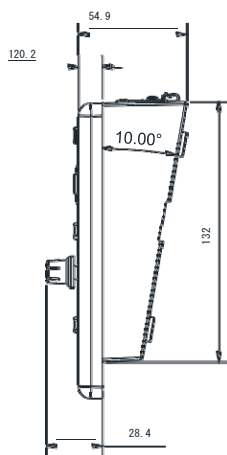
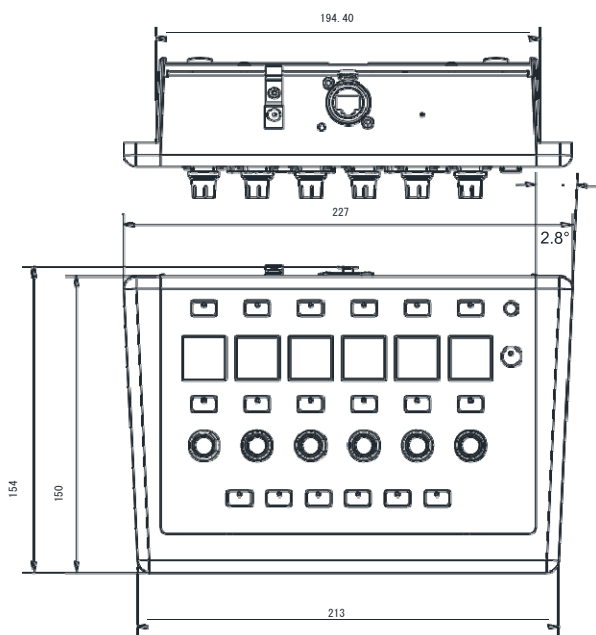
AHM System Managerソフトウェア、dLive Surface/Directorソフトウェア、またはAvantis mixer/Directorソフトウェアを使用して、コントローラーを適切に構成します。

dLiveでは、IP6は、MixRackまたはサーフェイスのいずれかにリンクするように設定できます。これは、物理的なネットワーク接続にかかわらず設定が可能です。例えば、ユニットがMixRackに物理的に接続された形であっても、サーフェイスにリンクするように設定できます。MixRackへのリンクは、サーフェイスとの接続の有無にかかわらず使用することができる独立したリモートコントローラーとして機能します。サーフェイスにリンクすると、SelやMixなどの追加機能をIP6のソフトキーにアサインできます。

IP6の機能およびアサインは、dLive/AvantisのシーンまたはAHMのプリセットに保存されます。リモートコントローラーのローカルには保存されません。

※システムソフトウェアの詳細についてはwww.allen-heath.comを参照してください。
<http://www.allen-heath.com/>

6. 寸法



単位: mm

7. 仕様

システム

ネットワーク	高速イーサネット100Mbps
外部電源入力	+12V、2.5A
PoE	802.3af (15.4W最大給電) 推奨
最大消費電力	5W
使用温度範囲	0°C~35°C

寸法・質量

	W×D×H×質量
IP6	227×150×55mm×約1.5kg

ALLEN & HEATH

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

2022年8月版



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>